

出雲市まち・ひと・しごと 創生総合戦略

平成27年度～平成31年度

基本目標1

出雲の特性を生かした魅力ある雇用の場を創出する

【数値目標】

雇用創出者数(5年間) 1,000人

【具体的施策】

- ① 第一次産業の活性化
多様な農業担い手の育成と
集落営農組織のステップアップ
水産業新ブランドの確立
6次産業の創出など
- ② 出雲ブランドの活用(ブランド商品の認定など)
- ③ 観光関連産業の活性化
文化財資源の活用、出雲の食を活用した観光振興
出雲大社および周辺の観光資源の活用
誘客環境づくり推進
(団体宿泊の誘致、Wi-Fi環境の整備など)
宿泊機能強化など
- ④ 地場企業への支援
職場定着向上支援
ヘルスケアビジネス(健康・医療関連産業) 創出支援
創業・事業承継支援など
- ⑤ 企業誘致の促進(製造業・ソフト産業の新設増設支援)

信州・松本そばまつりで
出雲の食(出雲そば)をPR▶



◀市内企業による島根
大学医学部の視察
(医工連携)

基本目標2

出雲との縁をつなぎ、ひとの流れをつくる

【数値目標】

社会増(5年間) 1,600人

【具体的施策】

- ① 出雲の魅力発信
SNS等を活用した情報発信
出雲の真のブランド化推進の取組の充実
- ② 移住促進
女性のIターン支援
住環境支援(移住促進住まいづくり助成、空き家バンクの充実) など
- ③ 定住促進
住環境支援
(定住促進住まいづくり助成、新築住宅に対する固定資産税課税免除)
ふるさと学習・キャリア教育の推進
地元大学・専門学校の魅力化支援など
- ④ 政府関係機関の誘致



▲北浜小学校児童が、地元の日本海
で漁を体験(ふるさと学習)

本市の人口の中長期展望を示した「人口ビジョン」を踏まえ、「総合戦略」と総合振興計画「出雲未来図」に基づき取組を進めていくことで、「総合戦略」の目標年次である平成32年3月において、市として実現すべき成果を設定した数値目標の達成をめざしていきます。

※総合戦略の推進にあたっては、各年度に、総合戦略策定にかかわった「出雲市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」による政策効果検証を行い、必要に応じ「総合戦略」の見直しを行っていきます。

基本目標3

出雲で縁を結び、子育てしていく希望をかなえる

【数値目標】

出生数（5年間）8,000人

【具体的施策】

- ①結婚支援
結婚を望む方への支援
地域における結婚支援の気運醸成など
- ②妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援
不妊治療への支援
親子のきずなづくり支援など
- ③教育環境の充実
教育力の向上（学校の特色ある取組の充実など）
児童・生徒への支援（不登校対応、外国籍の子どもたちへの日本語指導の充実など）
- ④ワーク・ライフ・バランスの推進（企業経営者に対する啓発促進）



▲親子のきずな
づくり支援

基本目標4

住みやすさNo.1のまちづくりを行うとともに、住民による主体的な地域づくりを進める

【数値目標】

市民満足度調査「住みやすいと感じる人の割合」（平成31年度）85%

【具体的施策】

- ①安全、安心なまちづくり（防災行政無線の整備促進など）
- ②生涯現役のまちづくり（健康診査、がん検診受診の推進）
- ③小さな拠点づくり（過疎地域支援員の活動活発化）
- ④地域を支える人づくり（地域活動の促進など）
- ⑤多文化共生のまちづくり（外国人市民を受け入れる体制の充実）
- ⑥交通ネットワークの確保
（山陰自動車道の整備推進、出雲縁結び空港の利用促進）



◀名古屋で出雲名古屋便
の利用促進や観光をPR

基本目標5

広域連携による魅力ある圏域（中海・宍道湖・大山圏域）づくりをめざす

【数値目標】

圏域人口（平成31年度）654,000人

【具体的施策】

- 中海・宍道湖・大山圏域市長会を軸とした広域連携の推進
《5市（出雲、松江、安来、米子、境港）で取り組む共同事業の実施》
国内外を視野に入れた力強い産業圏域の形成
三大都市圏での圏域PR、山陰いいものマルシェ（市場）の開催、
インバウンド（外国人誘客）対策推進など
- 交通ネットワークの充実（出雲、米子の2つの空港の利用促進など）
- 住みたくなる圏域づくり（自然環境の保全と活用など）
- 住民サービスの向上（ICカードの活用）



▲山陰いいものマルシェの開催